

すいせん



発行者 須崎協議会 文化厚生部
下田市須崎一七九番地
須崎漁民会館内
電話 0558 (22) 8056

題字: 梅田弥祐先生

老人会よりお知らせ

老人会では例年実施をしております「銀及び包干研ぎ」の修繕を、次の日程の通り実施致します。
日時 11月20日 午前9時より11時まで
場所 漁民会館 修理代は無料です。

恒例の「道作り」奉仕活動

10/17(日) 曇り空の中でしたが各組とも組長の指示に従い其々の生活道路の草刈り作業を予定通り実施しました。
また協議会の役員は別行動の作業にて西ヶ岡広場一帯の草刈りなど実施した。

市長と語る会の実施

10/18(月) 下田東中学校体育館にて近隣地域「市長と語る会」が行われた。内容は、市政の現状、課題、地域の将来像の順に進み、最後に意見交換を行なった。

主なテーマ

- *新型コロナウイルス対策 ①感染症対策 ②新・下田モデルの取組み
- *しごとづくり ①魅力ある観光 ②市との多様な関わり方と人流の創出 ③農畜産物策
- *心とこころ ①東京オリンピックの取組み ②学校教育のこと ③子育て支援
- *まちづくり ①高齢者福祉 ②防災を促す地震津波災害の対応 ③公共施設等の活用

幼き頃の思い出

文化・厚生部担当 森 豊春(平治)

自分の中の『夏の風物詩』の続き、今回は「夏祭り」について書いてみたい。託児所の頃から太鼓を引っ張り始めたと思っ
「託児所」という名称は、若い人にはピンとこないと思うが、昭和二十年代半ばまでに生まれた人たちの多くがお世話になった場所である。観音寺のお堂前に公民館の様な建物があり、幼稚園に通う前の三歳から五歳までの子どもがお世話になった所である。自分の思い出としては、紙芝居をたくさん聞かせて貰ったこと。舞台があり、その奥に畳が敷いてあって、そこでよく昼寝をしたこと。今でも水が流れているが、お堂の横にある溝でカニ取りをしたことなどがある。
「夏祭り」が「託児所」のことで、脱線してしまっただが、観音寺に墓参りに行った時に、弁天丸の一成船長や八倉丸の浩史船長などよく遊んだことが良き思い出として浮かんでくるので記してみた。

さて、祭りの初日、メインは太鼓引きである。夕方、越瀬と小白浜から太鼓の音が聞こえてくると始まりである。自分は西条なので、「政」さんの前で待つ綱を引っ張っている仲間に加わる。当時は、たくさんの子どももがいたのでかなり長い列になった。若い衆の先導で「太田屋」の前から細く長い上り坂を終点である「茂左」さんの庭先まで、「ゾロゾロ」と言う感じで引っ張って行った。終点に着くと若い衆が、太鼓台の中からお菓子を配って配ってくれる。このお菓子を貰うのが何よりの楽しみであった。この辺りは今も昔も変わらない風景だと思っが、大きな違いは、綱を引く子どもの数がとても多くなったことである。自分の感覚では綱を引くというよりは、綱に触っている感じだったと思う。
「少子高齢化」の現代と「団塊の世代」と言われる人たちが小学生だった

須崎で見られる野鳥

丑嶋 久雄

7, セキレイ(鶺鴒)

路上で尾羽を上下に速く動かしながら餌を啄み、人や車が接近してもなかなか逃げない小鳥がいます。ハクセキレイです。日本にはセグロセキレイ、ハクセキレイ、キセキレイの3種がセキレイの仲間が生息しています。セグロセキレイは日本固有種ですが、他はユーラシアおよびアフリカ中部から南部に分布日本では九州以北に生息する留鳥です。セグロセキレイとハクセキレイの色は白と黒でよく似ていますが、ハクセキレイは目の下が白くなっているのので区別できます。
それぞれ水辺や畑などを歩きながら水中や岩陰、土中などに



潜む昆虫類やクモ、ミミズなどを主に捕えて食べ、初夏に繁殖期を迎えます。
人懐こいように見えるので、イシタタキ(石叩き)、オシエドリ(教鳥) 等いろいろな呼び名があつたり、エピソードがあつたりします。飛騨高山では、セキレイをいじめると、「親死ね、子死ね、鍋も茶碗も破れて終え」と鳴いて呪うと言われているます。また、「日本誕生の神話」にも登場します。

時代と大きな流れを感じる。

「夏祭り」が最も盛り上がる二日目、本祭り、いよいよ神輿と道具の出番であるが、残念ながら自分の幼い頃の記憶がほとんどない。あるのは、現在須崎バス停留所の東側に砂浜があり、夕方にそこから神輿と道具が海に入り練り合っていたことくらいである。また、父が白い装束を身につけ、元氣よく出掛け行って、夜疲れた様子も見せずに、酒に酔って楽しそうに帰って来た思い出くらいだろうか。
須崎の神輿と道具の特徴は自分なりに、「躍動感」と「勇壮さ」だと思っている。「ヨイヨイ、ヨイヨイ」の掛け声で小走りに跳びはねながら、勢よく前の道具にぶつかって行く躍動感。ぶつかっては離れ、ぶつかっては離れる。これに神輿も加わり、練り歩く姿は勇壮である。また、神輿や道具を持ち上げながら練り歩く姿はより勇壮的で、他に例を見ない、類い希なまつりだと思っている。担ぎ手が減り、道具の数が減るなどと言う声も聞かされてくるが、この祭りが未来永劫ずっと続いて行くことを願いたい。

今回もガラガラと思いつくまま、稚拙な文章を書いてしまったが、最後に、歳を重ねた「自分の夏祭り」体験を書いてみたい。
大学一年の夏休み、帰省したら、タイミングよく祭りがあった。友人に誘われるがまま若い衆を体験。夜中、太鼓台の前で「ぐすり」もさせて貰った。二十代最後の「大頭」も務めることも出来た。三十歳を過ぎて二度三度と、雑刀を担がせて貰った。翌日、激しい筋肉痛で、「トイレに行くのもままならない」という貴重な体験もした。
高校を卒業して、須崎を留守にする事が多かった自分がこのような体験をすることが出来たのは、託児所以来の同級生の存在がとても大きい。
伊平屋の一成君、八倉の浩史君にはとても感謝をしている。
先の話ではあるが、皆揃って、喜寿・米寿の祝いをしたいものである。

十月の実施行事

- 1日(金) 回覧日、
- 2日(土) カイロ健康施術会(憩の家)
- 5日(火) わらいの輪 中止
- 6日(水) 古着回収
- 7日(木) 夏期対策協議会反省会
- 8日(金) 三三三分別収集
- 14日(木) 下田安全運転管理者講習会①
- 13日(水) 下田安全運転管理者講習会②
- 15日(金) 区協議会定例会
- 16日(土) 漁協水産祭り
- 17日(日) 両神社秋の例大祭
- 18日(月) カイロ健康施術会(憩の家)
- 20日(水) 区内一斉道作り(8時)
- 22日(金) 古着回収
- 24日(日) 参議院補欠選挙投票日
- 26日(火) 三三三分別収集
- 31日(日) 衆議院総選挙投票日

十一月の予定行事

- 2日(火) 高齢者フレイル測定と運動
- 3日(水) 【文化の日】
- 5日(金) 回覧日、
- 6日(土) カイロ健康施術会(憩の家)
- 9日(火) 三三三分別収集
- 9日(火) 第五分団消防放水演習
- 11日(木) 区協議会定例会
- 17日(水) 下田安全運転管理者講習会③
- 19日(金) 古着回収
- 20日(土) カイロ健康施術会(憩の家)
- 23日(火) 【勤労感謝の日】
- 23日(火) 三三三分別収集
- 24日(水) 下田岳精会詩吟大会(9時)
- 29日(月) 市特定健診(大腸・肺がん)
- 29日(月) 大腸がん検診

十二月の予定行事

- 1日(水) 古着回収/消防団夜警開始
- 3日(金) 回覧日、
- 4日(土) カイロ健康施術会(憩の家)
- 5日(日) 地域防災訓練
- 6日(月) わらいの輪
- 8日(水) 三三三分別収集
- 9日(木) 区協議会定例会
- 10日(金) 胃・肺がん検診
- 15日(水) 古着回収
- 16日(木) 市特定健診(大腸・肺がん)
- 18日(土) カイロ健康施術会(憩の家)
- 20日(月) 爪崎水仙まつりオープン
- 22日(水) 三三三分別収集
- 31日(金) 年越し

須崎の歴史を訪ねて・・・【久七の漂流】

「鳥島漂着物語(小林郁著)」より抜粋⑦

造船の始まり

「これ程までに難渋して命をつないで来た。いつの世になっても故郷の様子を知ることが出来ない、このままでは命もつきこの島で朽ち果てるだろう。日頃神仏に今一度日本に帰り親子兄弟に對面する事を祈願して来た。幸い住吉丸から大工道具を持ち出すことが出来た。寄木(流木)など拾い集め小舟を打ち建て運を天に任せ島から乗り出そう、神仏の御加護によつて地方(じかた)へたどり着き、親子兄弟と再会できればよし、運が尽きてどうなるうとも、元々島で朽ち果てる命だから少しも思い残すことはない。一決意は皆んなの総意であった。流木を集め船を建造する大事業に着手した。寛政3年(1791年)より9年(1797年)準備に3年、完成に3年計6年をかけて小舟が完成した。島には1本の材木もなく先ず流木を拾い集めた道具類も不足している。ほとんど無の状態から6年の歳月を費やし船を造った。

造船の経過

先ず流木集めのため、毎日海岸を歩き回り流木を探した。粘り強く少しずつ集めた。

緩やかに活動を広げています

浜崎小学校 校長 菊池 正仁

晴れた日の朝は通学路を歩くようにしています。すれ違つています。爪木崎口の信号に立っていると、わざわざ窓を開けて声を掛けていたこともあって、ありがたく思います。これから寒くなつていっても須崎区の皆さんの温かさのお陰で頑張れそうです。

さて、夏のころ猛威を振るつたコロナ感染もだいぶ落ち着き、学校も徐々にそれ以前の活動に戻りつつあります。今回も三枚の写真を用意しましたので、それぞれの様子をお伝えしながら進めていこうと思ひます。

まずは、二人のジオガイドをお招きして行われた四年生の「ジオ学習(磯観察)」です。台風による波の影響が心配されましたが、恵比須島の北側の湾はとても穏やかで、安心して観察することができました。ジオガイドの方には前もって学校に足を運んでいただき、事前学習や安全対策をしたので、当日スムーズに活動に入ることができました。開始間もなくはなかなか生き物が捕まえられず、ため息も聞こえてきましたが、一〇分もすると男女問わず「捕まえた!」といいつづ

ある時切り捨てられた帆柱杉の丸太3本、4尋(7.2m)が打ち上げられていた。また桶の板もあった。大工道具は山刀(ナタ)1挺・曲尺(カネジャク)1本・ヤスリ2挺・ノコギリ1挺・ノミ3本・斧2挺・脇差(小刀)1本しかなく船造りをした。船1艘を造るには足りない道具がいくつもあるが仕方なかった。伊豆の久七はフイゴを作り鉄を溶かし船釘を作った。フイゴは寄木や鳥の羽で苦労して作った。久七は古釘を溶かし、釘抜きや金錘・キリ・新しい釘など作り造船の準備は整った。造船の中心は若手が担当し年長者は食事を作った。設計は茅を編み船のひな型を作り、それを手本として3尺(90cm)の模型船を木で作り、周到な計画を立て造船を始めたのであった。既に材木は余るほど集めたが、鉄を使い果たし作業は止む無く休止となつてしまつた。ある日釣りに出て海で泳いでいた者が岩礁の間に錨の爪を見つけ、錨を引き上げると重さ10貫(37.5kg)でありこれを溶かし大量の船釘を作ることが出来た。久七の出番で釘作りは頑張つたのであろう。作業は再開され遂に船は完成した。準備に3年、船造りに3年気の遠くなる作業であつたらう。島を脱出することが願ひであつた。船の長さ6尋(11m)幅7尺(2m)である。しかしこの船は流木の接ぎ張りだらけの船であ

る。浸水(アカ)を恐れたので木の皮を剥ぎ板の継ぎ目に「巻はだ」を詰めたが、尚不安のため「漆喰」を塗り固めた。綱も木の皮から作つた。帆は4反帆で皆の衣服を縫い合わせ、錨は木の股に長い石を括り付けた。櫓は5丁あり大阪船と住吉丸のものである。この船は伊勢神宮への祈りのお陰なので「伊勢丸」と名を付けた。船の紋所は三つ巴とした。船は丘の上で作つたので崖下までの海までの道200mも作つた。食料はアホウドリと魚の干物を俵に詰めた。水は幸い竹が5本流れ着いたので「竹の夕ガ」を作り4つの水桶を完成させた。天明5年(1785年)土佐の長平が漂着して13年が過ぎていた。その間に死んだ7人の骨を掘り出し箱に詰め船に乗せた。出発するに3艘の漂着の顛末を板に書き残した。水の溜め方・魚やアホウドリの捕り方・船のひな型・フイゴ・鍋・火打石など箱に収め、後世この島に漂着する人々の為に残した。寛政9年(1797年)全ての仕事は終わり旅立つを待つばかりとなつた。旅立ちは一生涯か死か「彼らの必死の覚悟を祈るばかりである。次号に続く 山三 土屋 磯雄

む声が聞こえるようになりました。「これメスだよ。」「ピライソガニを捕まえたよ。」と教えてくれる子供たちの目の輝きは本物の自然がそうさせてくれるのだと思ひます。最後は捕まえたカニや貝、魚、ヤドリ等々の鑑賞会を行った後、海に戻りました。地区の自然の豊かさを実感することができました。一方で、この四年生は実際に取つてきた海岸の砂に含まれるマイクロチップの多さも学んでいます。「豊かな自然が広がっているけれど、海の汚れも進んできている」ことから、自分に何が出来るのか、これから何が必要なのか、考えられる力につなげていきたいと考えています。次は「児童会意見発表会」です。後期児童会のメンバーが決まり、「どのような学校にしていきたいのか」発表しました。当初は放送で計画していましたが、ソーシャルディスタンスを確保し、舞台上がって、しっかりと暗記した自分の意見をみんなの前で発表しました。「近崎小学校のよさはあじさつで、大切にしていきたい。」「児童会目標のこころに元気な近崎っ子にしたいです。」と気持ちのこもった発表で、とても頼もしく思ひました。最後は、「学校公開日」です。浜崎小学校の保護者の皆さんは参観日の参加率がとても高く、教室内が密になることが予想されたため、須崎地区が午前中、柿崎地区が午後の授業

10/15 4年生ジオ学習(磯観察)



10/21 児童会意見発表会



10/21 学校公開日



を見ていただくことで分散するようになりました。そのような中でも、都合をつけていただき、多くの方に足を運んでいただきました。本当にありがとうございました。本来なら、すべての地域の方に参観していただけたら良かったのですが、このような状況下でしたので、ご容赦ください。来年は実現できることを心より願っています。

～10月の学校の様子～

地域防災訓練のお知らせ

12/5(日)は「地域防災の日」です。当日は午前9時のサイレンと共に訓練を開始して下さい。自ら参加をお願いします。

10/11ニュース

十月の捕獲情報
6日(水) 括り良 1頭 80キロオス
敷六の白毛裏の山中にて

ご意見募集

市、区などへの要望
ご意見、ご質問

身近な話題

「わか家の自慢」
何でも結構です
お寄せ下さい。

須崎協議会事務所

《十月》
25日 中村 とめ子さん(93歳) 双葉屋
29日 宮原 清さん(80歳) 宮原
〃 土屋 玉江さん(80歳) 彦兵衛屋